



こんにちは

日本共産党品川区議会議員 週刊区政報告

鈴木ひろ子

事務所 中延 2-1 1-7 TEL3783-8833
区議団控え室 (品川区役所内) TEL5742-6818

このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

住民の皆さんと実現した水害対策

現場見学会に参加しました

地域の皆さんと一緒に

中延増補管のシールド工事が文化堂付近まで進みました



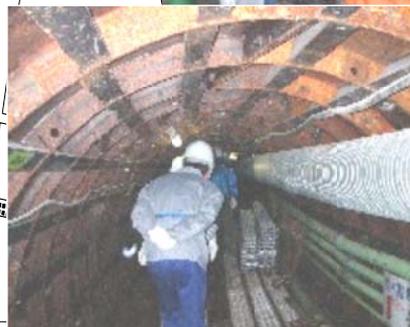
東京都下水道局が施工業者と取り組んだ現場見学会には地域から約100名の方が参加しました。初めに工事の概要説明がされましたが、今回の説明は、主に中延増補管についてでした。「荏原町公園で何の工事やっているの?」という質問をよく受けている。

水害対策ってどんな工事?

6月30日、中延2〜6丁目の水害対策として行われている下水道工事(シールド工事)の現場見学会に地域の方々と一緒に参加しました。水害対策の工事説明を受け、実際に700mまで掘り進んだトンネルの200m地点まで入って中を見せていただきました。



↑ 工事の説明を受ける



← シールド工事のトンネル内を見学

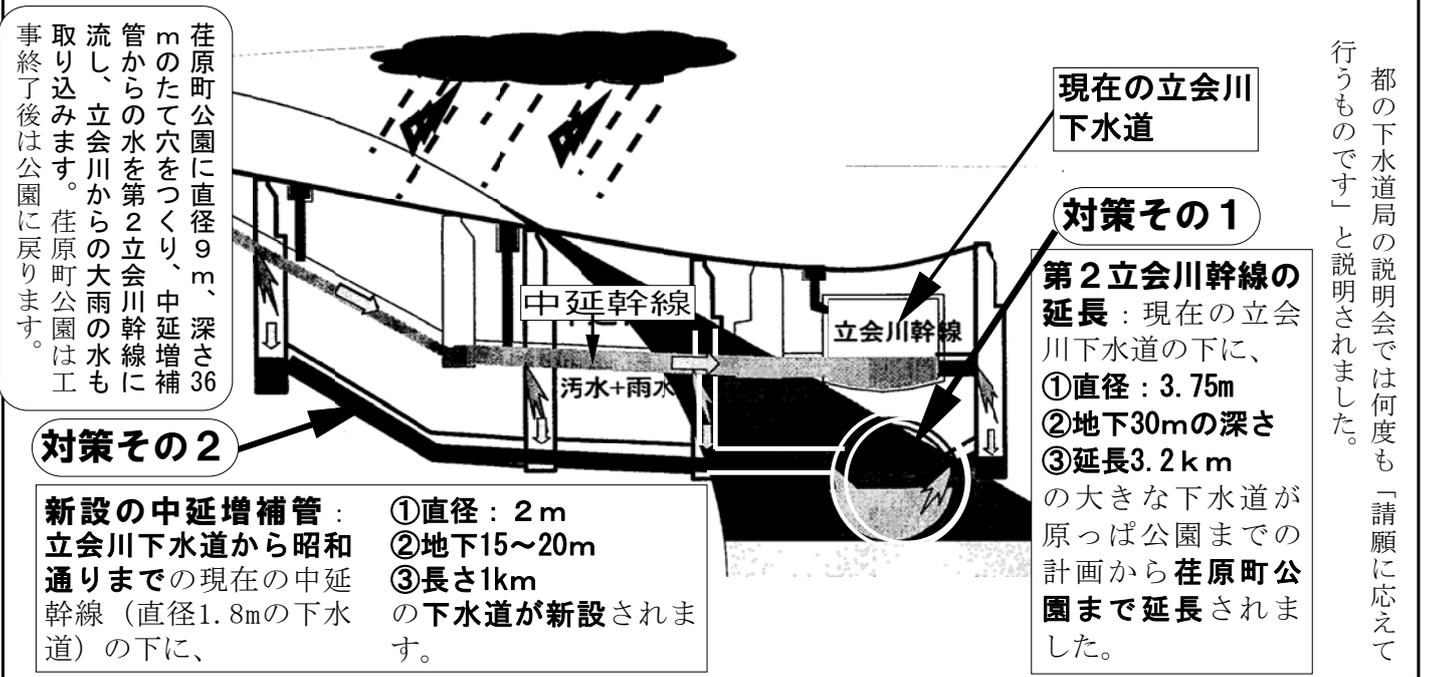
ます。ひろ子ニュースで何度もお知らせしてきましたが、あらためて全体の水害対策についてお知らせします。その中身は主に次の2点です。①第2立会川幹線の荏原町公園までの延長②中延増補管の新設。詳しい中身は下図をご覧ください。

3091名の署名・都庁交渉 など住民の皆さんとの運動が 実現の力

99年〜02年の8月の中延地域を襲った浸水被害。この直後に後日請願代表となった高桑さんから「何とかならないか」と相談を受けました。地域の方々と担当課長と共に現地調査、原因の究明、請願書作成。署名は3091人も集められ、区議会会で全会派一致で請願採択。品川区も都に対して要望書提出。しかし、都の態度は抜本対策はとらずに様子を見たいと繰り返すばかりでした。私は、議会でも機会あるごとに取り上げ、抜本対策を求めました。

東京都に対しても、日本共産党秋田から都議会（当時）に交渉の場を設定してもらい、地域の方々から切実な実態を直接訴えました。こうした住民の粘り強い運動が区と都を動かして今回の抜本対策の実現となったものです。

水害抜本対策って いったいどんな工事なの？



いつまで続くの？

シールド工事は荏原町公園から昭和通りまで約1kmの計画で現在700mまで進んでいます。今後9月下旬にはシールド工事が終了。その後、現在ある中延幹線と新設の中延増補管をつなぐ取水人孔の設置工事が行われます。場所は昭和通りです。すべての水害対策公工事終了は21年度末をめざしているとのことですので。取水人孔の工事については次号でお知らせします。

無料 法律・生活相談会

7月23日(水)午後6:30~

会場：鈴木ひろ子事務所
中延2-11-7 TEL3783-8833

どんなことでもお気軽にご相談ください。

日本共産党